

日本慢性期医療協会 第3回経営対策講座
～ 2025年に向けた慢性期医療の経営戦略～
開催のご案内

謹啓 陽春の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は一方ならぬご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。

さて、2012年診療報酬・介護報酬の同時改定が決まりました。今後、病院経営は益々厳しくなっていくことが予測され、今がまさに2025年に向けての経営判断をするべき時機であると考えられます。

2025年には年間の死亡者数は現在の1.5倍の約160万人、医療・介護の対象患者は750万人となり、約10年間に実に300万人もが急増するという予測です。それまでに、あと2回の同時改定が行われますが、今回の改定でもみられたように、慢性期医療への比重は益々高まってまいりました。しかし、一方では、単に慢性期医療を充足していくということではなく、本物の慢性期医療でなければ生き残れないという流れも読み取ることができます。

国が示す今後の高齢者の急増に対する施策としては、居住系施設を含めた在宅療養がその中心になっていくと思われませんが、それを後方支援するのは慢性期の病床であることは論を待つまでもありません。慢性期医療が担うべき範囲は、急性期からの慢性期ICU患者の受け入れ、在宅療養の支援、回復期機能、認知症患者の治療、ターミナルケア、管理栄養士や薬剤師等による適切なサポート、難病支援など、医療・介護を必要とする人の実に90%にも及び、これまで以上に幅広く、良質な慢性期医療の提供が求められています。これがすなわち、当協会が提唱する「長期急性期病床」「長期慢性期病床」であり、在宅療養をとりまく医療・介護サービスまで含めたすべてを慢性期医療が担っていくこととなります。

今後の地域を支える良質な慢性期医療となるために、慢性期医療のそれぞれの分野において第一線で活躍する当協会の講師陣を揃え、生き残りをかけて共に戦略を模索すべく第3回経営対策講座を開催致しますので、奮ってご参加を賜りますようお願い申し上げます。

敬具
日本慢性期医療協会
会長 武久洋三
運営委員会委員長
委員長 中川 翼

第3回経営対策講座開催概要

テーマ 2025年に向けた慢性期医療の経営戦略

日時 平成24年5月27日(日) 10:30~16:00

場所 東京研修センター(日本慢性期医療協会併設)
東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階 tel.03-3355-3120
交通アクセス:丸の内線『新宿御苑前駅』より徒歩10分

参加費 日本慢性期医療協会会員5,000円 非会員30,000円
(参加費にはご昼食代を含みます。)

定員 160名(1施設2名まで・先着順)
*定員に達した場合は、期日にかかわらず受付を終了させていただきます。

申込締切 平成24年4月13日(金)

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
FAX:03-3355-3122(日本慢性期医療協会事務局)

プログラム(予定)

総合司会:中川翼(運営委員会委員長)

時間	講座名	講師
10:30~12:00	長期急性期医療をどう担っていくか ~リハ機能の活用術~	安藤高朗(永生病院理事長)
12:00~12:50	(昼食)	
12:50~14:20	地域を支える慢性期医療 ~在宅医療連携拠点を目指して~	池端幸彦(池端病院理事長)
14:20~14:30	(休憩)	
14:30~16:00	良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない	武久洋三(博愛記念病院理事長)

キャンセルについて 5月15日以降のキャンセルについては、参加費の返金はいたしませんのでご注意ください。
ご欠席の場合は、資料の送付を持って代えさせていただきます。

企画 日本慢性期医療協会 運営委員会

主催 日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122
E-mail:info@jamcf.jp ホームページ <http://jamcf.jp/>